令和８年度　函南町立桑村小学校　グランドデザイン

国の教育の方向性
令和の日本型学校教育の構築

児童の実態
〇自分を尊重する姿勢がある
〇異学年交流を通じた他者とのかかわりがある
〇多様な大人（保護者・教職員・地域）を信頼し、相談できる
▲相手の気持ちを考えない言動が見られる

学 校 教 育 目 標
夢に向かい　感性を育む　桑っ子

重点目標　しなやかに生きる子

本気で学ぶ子（自己効力感）
仲間を大切にする子（自己有用感）
たくましい子（自己肯定感）

校訓　ほんきで　なかよく　きまりよく

県の教育基本理念
未来を切り拓く人材の育成と社会を生き抜く力を育む教育の実現

函南町教育基本方針
豊かな感性と「生きる力」をもつ子どもの育成

保護者・地域の願い
〇自分のことは自分で行い、自分の行動に責任がもてる
〇思いやりの心をもって、自分も相手も大切にできる



つけたい資質・能力

Ａ：自分の思いを伝える力（聴く力・話す力）	「知識・技能」
Ｂ：豊かな感性を働かせる力	「思考力・判断力・表現力等」
Ｃ：めあてに向けて取り組み続ける力	「学びに向かう力・人間性等」



P → D → C → A

〈 学校経営目標 〉 ～ つなぐことで生きて働く力に ～

1　子供たちに生きて働く力をつけるための授業づくりを推進する
2　自他の違いに気づき、認め合い、伝え合うことのできる子供を育成する。
3　健康や安全に配慮し、よりよく判断して生活できる子供を育成する
4　コミュニティ・スクールを推進し、家庭・地域社会等との連携・融合を図る
5　チーム担任制を軸に、全教職員で誰一人取り残さない教育を推進する

学　習　指　導　部
学び手の視点に立った授業づくり・教科担任制の導入
〈 重点実施計画 〉
・函南スタンダード　・道徳の授業　・確認テスト
・伝え合いタイム　・ピアサポート　・読書活動
・体力テスト　・持久走記録会　・リレー会

生　活　指　導　部
縦割り活動を生かした集団づくり・健康教育の推進
〈 重点実施計画 〉
・桑っ子のきまり　・あいさつ運動　・防災訓練
・桑っ子活動　・原生林探検　・運動会
・ＳＳＴ（ｿｰｼｬﾙｽｷﾙﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ）　・委員会活動

★チーム担任制（低学年・高学年）
★函南（桑村）の良さを知る活動の推進
★ステージ制によるメリハリのある教育課程
★保幼こ小中連携・接続（函南架け橋プログラム）

〈 評価項目 〉
自分の思いを伝える力を身に付けることができた（９０%）
自他を大切にして、より良く行動することができた。（９０%）
めあてに向かって取り組み続けることができた。（９０%）



働き方改革を伴うチーム桑村の取り組み
〇適正な勤務時間（週１回の定時退庁日の設定・徹底　電話対応時間の設定　校務支援ｼｽﾃﾑの活用）　〇信頼される学校づくり（不祥事根絶）
〇業務改善（チーム担任制による教員の意識改革　ＯＪＴの充実　問題行動への複数対応　そのつど会議を活用した情報共有　）



地域に開かれた学校
家庭・地域社会との協働（コミュニティ・スクールの推進）





家　庭
授業参観　懇談会　PTA 活動
保護者面談　親子読書の会
読書活動の推進（読み聞かせ）

よりよい教育を語り合う場
学校応援団会議　教育課程編成会議
職員会議　PTA 役員会　打合わせ
学年団会議　校内研修　チーム主任会

地　域
学校応援団（支援）　桑村道場
読み聞かせ　ドリームステージ
農作物の栽培　桜の木の剪定